

教科・科目	家庭・家庭総合	2単位	対象学年・組・区分	2年1～7組
教科書 ・副教材等	新家庭総合（実教出版） 新家庭総合学習ノート	教科 担当者	家庭科 船津香住、内田三喜子、中田京子、檜山時恵	

目 標	一学期	青年期の課題である自立について認識させる。家庭の機能と家族関係の法律を理解させる。高齢者の心身の特徴と生活、福祉について理解させ、共生を考えさせる。
	二学期	乳幼児の発達の特徴・保育知識を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。被服材料、構成、管理について科学的実践的に理解させる。基礎的な被服製作が出来るようにする。
	三学期	家庭の経済生活、消費者の権利と責任について理解させる。消費生活の現状と課題、消費者の保護について理解し、実践的主体的な態度を養う。

学期	月	単元	時間	学習内容
一学期	4月	家庭総合とは	24h	オリエンテーション 家庭総合の目標
	5月	自分らしい生き方と家族		自分を見つめる 自立した生き方 家族に関する法律
	6月	高齢者とかかわる		高齢社会に生きる私たちの暮らし
	7月	高齢者とかかわる		高齢期の理解 高齢者を支える
二学期	9月	子どもとかかわる	28h	命を育む 子どもの育つ力を知る 親として共に育つ これからの保育環境
	10月	子どもとかかわる		子どもとの関わり
	11月	衣生活をつくる		被服の役割を考える 被服を入手する 衣生活実習
	12月	衣生活をつくる		被服を管理する 衣生活の文化と知恵 衣生活実習
三学期	1月	消費行動を考える	18h	消費行動と意思決定 社会の変化と消費生活
	2月	消費行動を考える		消費者の権利と責任 持続可能な社会環境
	3月	経済的に自立する		経済のしくみを知る ライフステージと経済計画

評価の観点 ・方法	出席状況 定期考査成績 実習レポート 提出物 授業態度 実習態度など総合的に勘案し評価する
--------------	---